

詳細設計付き工事でのCIM

試行対象を精査

中部地整

国土交通省中部地方整備局は、CIM(コンストラクション・インフォメーション・モデリング)を詳細設計付き工事での2014年度に試行する。このため、対象となる工事の精査を進めている。設計と工事を一括して進める中で、三次元データを使うCIMの有効性を検証する。また、これまでにCIMを試行した工事や業務について、工事・維持管理といった、事業の次の段階でのようにデータを引き継ぎ、活用できるか調査する。

詳細設計付き工事でのCIMの導入について国交省は、発注者が試行案件を指定する「指定工事」による試行を予定している。中部地整はこれまでの取り組み結果を踏まえ、対象となる工事を選定する。

中部地整は13年度、475号東海環状(北勢、大安)北勢北高架橋詳細設計▽23号蒲郡BP豊沢・広石為当地区道路詳細設計▽伊勢神地区地質調査の3業務と、佐久間道路蒲川地区第1トンネル新設工事▽1号袋井沖之川高架橋床版工事の2工事でCIMを試行した。また、12年度には名古屋事務所が発注した国道155号豊田南バイパス横山地区道路詳細設計でもCIMを試行した。

1号袋井沖之川高架橋の床版工事は9月の完成を予定している。工事後、維持管理など次の段階でのCIMの活用を検討していく。

佐久間道路のトンネル工事は16年度までの工期を予定しており、当面は工事の進捗に合わせてCIMデータを蓄積する。

そのほかの試行業務については現在、設計や工事など次の段階に入るた

【建設ICT】

1. 日経	2. 朝日	3. 毎日	業事
4. 読売	5. 岐阜	6. 中伊	12. 日刊
7. 産経	8. 静岡	9. 伊勢	13. 日本
10. 中部経済	11. 建設	14. 信濃	15. 毎日
13. 建設通信	16. 建設工業		

平成26年6月11日(朝)・夕) P1-1

という。成績評定時の加IMをどのようになかす点というインセンティブか、問題意識も問われそがある一方、希望者はCうだ。